

環境方針

(株)東芝 セミコンダクター社

四日市工場 環境方針

理 念

東芝グループの理念である「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることで持続可能な社会へ貢献します。

方 針

(株)東芝 セミコンダクター社グループの環境方針に基づき、エレクトロニクス社会を支えるフラッシュメモリなどの製造とそれにより発生する廃棄、および流通などの事業プロセスにおいて最先端の環境施策を導入し、可能な限り環境に配慮することを目指します。

そして、持続可能な社会とすることを目指し、以下の事に全員で取り組みます。

1. 倫理観（コンプライアンス）と継続性（サステナビリティ - ）

- (1) 西に緑豊かな鈴鹿山脈、東に恵み豊かな伊勢湾に立地するハイテク工場と意識し、環境保全への取組みを工場経営の最重要課題の一つと位置付け、経済と調和させた環境活動を継続的に推進します。
- (2) 環境に関する法令・条例・協定、当工場が受入を決めた要求事項および自主基準などを順守します。
- (3) 環境活動レベルの向上を図るため、定期的な監査と活動のレビューを行う事により環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

2. 実行（エクセキューション）

- (1) 事業活動、製品・サービスに関わる環境側面について、環境影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、積極的な環境施策、環境調和型プロセスの導入を展開します。

CO₂とPFCの排出削減施策の実施により、地球温暖化の防止に貢献します。

3R活動の推進、生産性の向上、水資源の受入れ量削減施策の実施などによる資源の有効活用、および化学物質の管理の徹底などにより、環境負荷低減に取り組みます。環境に関する情報の発信、構外活動への参画を進める事により、地域・社会のみならず相互理解を促進します。

全従業員の環境意識を向上する事を目的とした行事を行い、全員で取り組みます。

- (2) 製品の環境事前評価、原材料の適正管理と使用量削減により環境調和型製品の提供とサービスの改善に努めます。

この環境方針は、社内外に開示するとともに本組織で働くすべての人々に周知し、方針に沿った企業活動を推進します。

株式会社東芝 セミコンダクター社
四日市工場 工場長 成毛 康雄
改正；2009年4月17日

2008年度の環境の主な取り組み

ISO14001環境マネジメントシステム

1996年2月に認証取得、2007年8月に東芝 セミコンダクター社で統合認証を取得。

2008年6月に1回目のサーベイランスを受審。

化学物質排出量の削減 目標達成!

化学物質(東芝ボランタリープラン対象物質)の年間排出量を447tに抑制(目標520t/年以下)。

CO2排出量の削減 目標達成!

CO2(エネルギー)を、省エネ施策により17,404t-CO₂/年削減(目標15,666t-CO₂/年以上)。

廃棄物ゼロエミッションの継続 目標達成!

最終処分率は、0.018%。ゼロエミッション(最終処分率1%以下)を1999年より継続。

環境に配慮した製品の開発

製品移管時の評価件数80件、製品開発時の評価件数1件

資材取引先に関する環境配慮

20件の廃棄物委託先について現地確認を行い、適正に処理が行われていることを確認。

環境コミュニケーションの紹介

企業の説明責任

地域自治会様との環境連絡会

地域の環境保全を目的に、四日市市山之一色町自治会様と定期的に連絡会を開催し、水質・大気などの環境測定データの報告や環境施設の見学など、環境の取り組み状況についてご報告しています。

地域と密着した企業活動が推進できるよう、今後も継続してコミュニケーションを図っていきます。

[排水処理装置をご見学]



環境貢献活動

みどりの募金活動

四日市工場では毎年6月の環境月間に「みどりの募金」活動を行っています。みどりの募金とは、公共施設など身近な生活環境の緑化や、緑化思想の普及・啓発事業などに活用され、一部は世界的な環境保全のための緑化や森林整備に役立てられています。従業員からの募金は三重県に寄付をしています。

[寄贈の様子]



[キャップ回収BOX]



カレンダー・手帳回収

不要となった工場内のカレンダー・手帳を回収し、四日市市社会福祉協議会へ寄贈しています。カレンダーとしての活用のほか、教材やリハビリの材料としても活用していただいております。このような活動を活発に行い、リユースの推進、リデュースの意識付けを工場内に広めていきたいと考えています。

エコキャップ運動

2008年度よりNPO法人・エコキャップ推進協会が主催するエコキャップ運動に参画しています。ペットボトルのキャップを回収し、再資源業者に売却、その収益で途上国の子供たちにポリオワクチンを提供するという取り組みです。2008年度はポリオワクチンおよそ375本分に貢献できました。

[出社時の募金風景]



環境コミュニケーションの紹介(つづき)

環境教育活動

エコインターンシップ

企業の環境管理業務を学生に体験してもらおうインターンシップ制度。四日市工場でも「環境のことを考えて働くことができる人材の育成」を目的とし、学生に企業の環境活動を実習する場を提供しています。2008年度は地元三重大学生1名に、四日市工場のさまざまな環境に関する業務を体験してもらいました。

[環境分析を体験するインターンシップ生]



出前授業

子供の理科離れを防ごうと、四日市市教育委員会が企画した出前授業に参画しました。中学校へ訪問し、半導体の製品や製造の過程、それにとりもなう環境活動などを説明しました。また、実際に製造現場で使用しているクリーンスーツの試着体験や半導体の回路をルーペを使って観察してもらいました。工場で何をどのように作っているのかを多くの子供たちに興味を持ってもらえるよう努力していきます。

[クリーンスーツを試着体験する子供たち]



[工場概況の説明を聞く子供たち]



工場見学会

四日市市教育委員会との連携教育授業の一貫として、小学生を招待し、工場内見学会を実施しました。半導体という難しい分野であるにもかかわらず、熱心にメモをとったり、積極的に質問をする姿が見られ、子供たちが興味を持ってくれたことを感じることができました。

[環境問題について勉強する子供たち]



Kids'ISO14000プログラム

子供環境教育(Kids'ISO14000プログラム)は児童が学校、家庭、地域、あるいは国際的な環境問題をテーマに活動し自立していく教育を目的としたプログラムです。私たちは、インストラクターとして子供たちが環境問題について考えるきっかけ作りをお手伝いしています。

社外環境展示会

三重県環境学習情報センター

2008年10月、三重県環境学習情報センターで環境展示会を開催しました。四日市工場の環境への取り組みを8枚のパネルや見本を使って紹介しました。社会見学のシーズンであったこともあり、たくさんの子供たちに私たちの取り組みを知ってもらうことができました。

[熱心に説明を聞く子供たち]



環境コミュニケーションの紹介(つづき)

社外環境展示会

四日市市環境フォーラムシンポジウム

四日市市の市制111周年記念「四日市市環境フォーラムシンポジウム&展示・交流会」に参加し、四日市工場の地球温暖化防止に関する活動事例を紹介しました。ほかの企業や、市民団体からもたくさんの出展があった中、来場者アンケートで『印象に残ったブース』として好評をいただきました。

[展示パネルを説明]



[好評をいただいた展示ブース]



第18回 東芝グループ環境展

東芝グループの環境活動における成果と今後の取り組みについて理解を深めていただくため、2008年度も東京都港区の本社ビルで開催しました。当工場からも『クリーンルーム建設における省エネ対策』をテーマに活動事例を報告しました。今回の環境展は過去最高となる約5,000名のご来場をいただきました。

従業員啓発活動

月間行事

6月の環境月間、10月の3R推進月間(3R...リデュース・リユース・リサイクル)、2月の省エネ強調月間には、従業員の環境意識を高める行事を行っています。

工場内で環境パネル展示会、外部の講師による環境講演会、インフラ施設見学会などを開催しています。

[環境パネル展示会]



[環境講演会]



[省エネ勉強会(他工場見学)]



クリーン活動

従業員ならびに常駐会社員が協力し、定期的に工場周辺道路や工場内の清掃活動を実施しています。回収したゴミは廃プラスチック、紙屑、鉄屑、ガラス屑などに分別し、再利用しています。

[製造工程を説明]



[回収したゴミを分別]

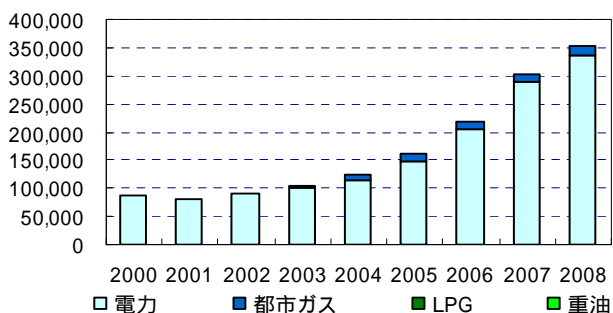


家族見学会

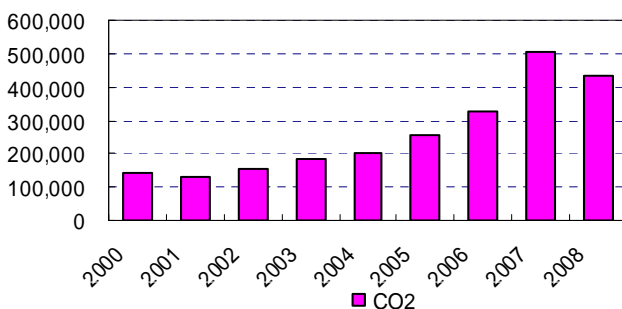
従業員のご家族にも工場経営を理解していただくため、毎年工場家族見学会を開催しています。製造現場を実際にご覧いただき、お父さん、お母さんが働く工場で何を作っているかをお子さんにも分かりやすく説明しています。今回は287家族の計1,047名に参加いただき、環境報告書とかんきょうパンフレットを配布し、環境活動にもご理解をいただきました。

環境負荷データ

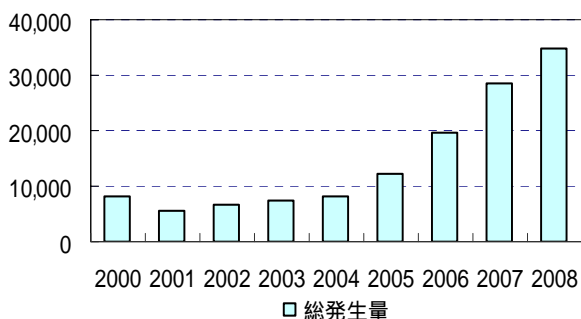
エネルギー使用量 (単位: kL)



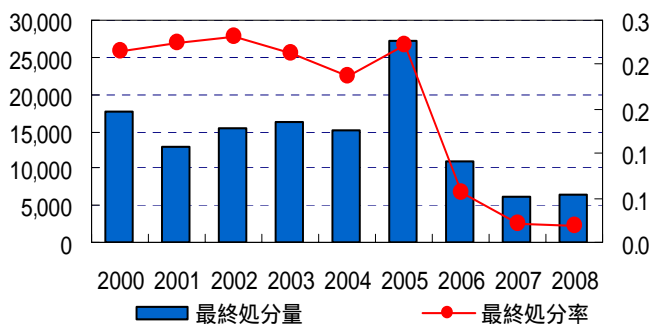
CO2排出量 (単位: トン - CO2)



廃棄物総発生量 (単位: 千kg)

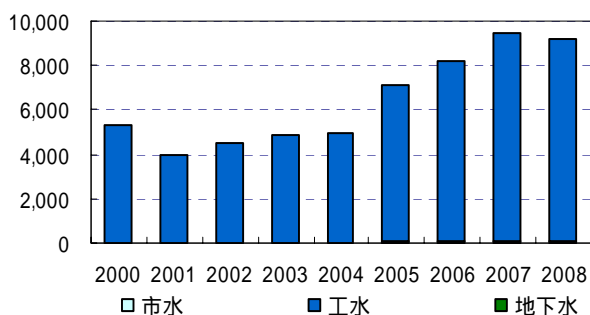


廃棄物最終処分量と最終処分率 (単位: kg, %)

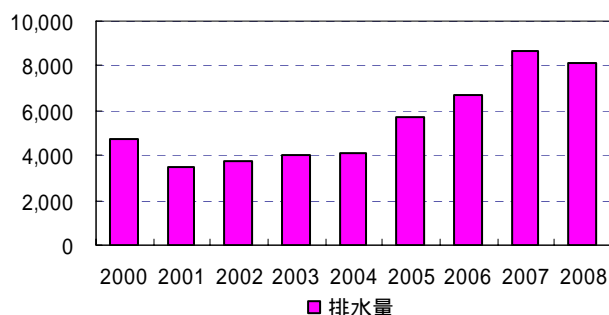


主な廃棄物名: 汚泥 廃酸 廃プラスチック等

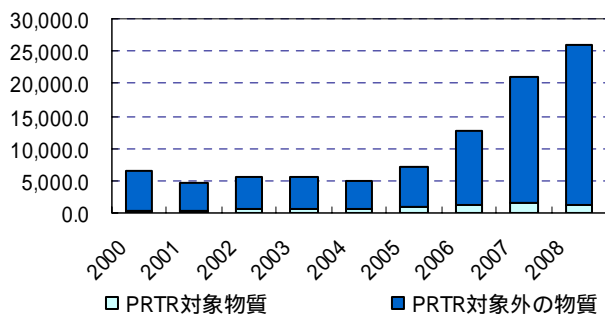
水の使用量 (単位: 千m³)



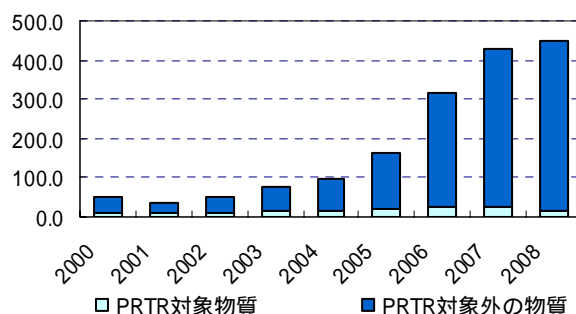
排水量 (単位: 千m³)



第4次ボランタリープラン削減対象の取扱量の推移 (トン)



第4次ボランタリープラン削減対象の排出量の推移 (トン)



主な化学物質: 硫酸 メタノール 塩化水素

遵法管理状況

大気測定結果(水管式ボイラー(都市ガス使用)3台、小型貫流ボイラー(都市ガス使用)20台)

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	130	72	48	年1回
SOx(Nm ³ /h)	1.2	0.099	0.01以下	年1回
ばいじん(mg/Nm ³)	50	35	1.0以下	年2回

排水測定結果(主な測定結果)(主な特定施設(酸又はアルカリ表面処理施設等)、河川(部田川~海蔵川)へ放流)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6(水濁法)	6.5~8.0	7.1~8.0	月1回
BOD(mg/ℓ)	20(三重県条例)	4.0	0.2~1.3	月1回
COD(mg/ℓ)	20(三重県条例)	4.0	1.8~3.6	週1回
SS(mg/ℓ)	70(三重県条例)	4.0	0.2~3.2	月1回
窒素(mg/ℓ)	60(水濁法)	6.0	1.0~5.2	週1回
フッ素(mg/ℓ)	8(水濁法)	5.0	0.7~2.6	週1回

騒音・振動測定結果

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	対象外	-	-	-
	敷地境界:夜	対象外	-	-	-
振動(dB)	敷地境界:昼	対象外	-	-	-
	敷地境界:夜	対象外	-	-	-

その他測定結果(下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	-	-	-
BOD(mg/ℓ)	対象外	-	-	-
SS(mg/ℓ)	対象外	-	-	-

環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	高圧ガス保安法に基づく届出不備に対し三重県よりご指導を戴きました(08/7)。再発防止を図るためコンプライアンス実行委員会を新設する等の改善を行いました。
近隣住民からの苦情の有無	なし